

1 パブリックコメントの実施結果

『熊本市公文書館整備基本計画（素案）』について、パブリックコメントを実施。

- 実施期間：令和6（2024）年3月22日（金）～4月22日（月）
- 提出状況：13名、26件

計画全体に関すること	6	施設整備計画に関すること	9
既記載	1	既記載	4
説明・理解	2	説明・理解	2
事業参考	3	事業参考	3
公文書館と中間書庫の役割に関すること	9	その他	2
補足修正	1	その他	2
説明・理解	2		
事業参考	6	合 計	26

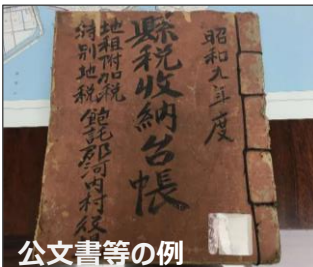
2 計画策定の背景と経緯

- ・約80,000箱の公文書等が様々な場所に分散保存されている。
- ・保存環境が確保されている場所は少なく、水害等の危険性がある場所も含まれている。
- ・そのような中、令和3年4月に熊本市公文書管理条例を施行。
公文書等をめぐる諸課題について、令和4年6月に熊本市公文書等管理委員会に対して「公文書の管理の在り方について」諮問。

『公文書の適正な管理を実施するために公文書館及び中間書庫の設置を早期に実現すること』との答申が出され、このような経緯を踏まえ、公文書館等の早期整備に向け基本計画を策定することとした。

3 公文書館の役割

- (1) **特定歴史公文書等の保存**
※ 熊本地震やコロナ対応などの公文書も後世へ継承
- (2) **特定歴史公文書等の利用**
- (3) 調査・研究
- (4) 特定歴史公文書等の普及
- (5) 類似公共施設との連携



4 中間書庫の役割

中間書庫は、一定年限を超える公文書を業務の現場から移動させ、書庫管理システムを利用した一元管理によって散逸や破損を防ぎ、特定歴史公文書として評価・選別された公文書を公文書館へ確実かつ円滑に移管する役割を担う。

5 建設計画地

所在地：熊本市北区植木町轟2582番4の一部
(山鹿植木広域行政事務組合リサイクルプラザ跡地)
※ 建設計画地は中心市街地から離れているため、利活用の一つとして、特定歴史公文書等に関するデジタルアーカイブを構築し、来館せずともスマートフォン等で検索・閲覧が可能な環境を整備するなど、利用者の利便性向上を図る。

6 概算事業費の算定

本事業の概算事業費は約42億円。
ただし、あくまでも試算した額であり、今後の諸条件の変更や関係機関との協議等により適宜見直しとなる場合がある。
令和6年第2回定例会にて、基本・実施設計等に関する予算を計上。

7 スケジュール

